

# 義肢装具体験イベント (企業内研修)開催報告書

vol.05  
2019.6

## 第5回

### 『義肢装具体験イベント (企業内研修)』

第5回となる「義肢装具体験イベント(企業内研修)」を、2019年5月17日(金)にテルモ株式会社にて開催いたしました。

当日は、企業内研修の場を利用して、テルモ職員で立位テニス選手の講演(45分間)と、当協会から①②③のプログラム提供(45分間)を実施いたしました。

- ①「障がいのある方々と義肢装具士の関わり(講義)」
- ②「模擬義足の装着体験」
- ③「義肢装具展示と質疑応答」



## 主なプログラム

テルモ株式会社の職員様 約40名と会長様に、(公社)日本義肢装具士協会 障がい者/パラアスリート/PO啓もうWGと外部協力POの4名が、スタッフとして対応しました。それぞれのプログラムについて解説いたします。

### 講義「障がいのある方々と義肢装具士の関わり」

「障がい」「障がい者」と、「その方々を支援する義肢装具士の職業」について、理解を深めてもらう事を目的に講義を行いました。

職員の方々のほとんどは、初めて見聞きする義肢装具スライドや話しに、興味津々に耳を傾けて頂けました。



<講義の風景>

## 模擬義足 装着体験

模擬義足を装着し、「切断者の義足歩行」を疑似体験してもらう事や、身体的負担を体感する事で、義足操作の難しさや不自由さの理解を深めて頂く事を目的としました。



<模擬義足の装着体験>

## 義肢装具展示と質疑応答

「義肢・装具」を約20点展示しました。義肢装具に関する講義後に、より理解を深めて頂くために実際に義肢装具に触れてもらいながら、スタッフが展示されている義肢・装具の使用目的の説明や、職員の方々からの質問に答えました。

プログラムの終了時間を過ぎても職員からの質問が続くほど、熱心に義肢装具を観察する姿が感じられました。



<義肢装具展示と質疑応答の風景>

## 総括

今回当協会として初めてとなる企業内研修に運営協力いたしました。職員の皆様に「障がい者理解」や「ボランティアマインドの育成」、「義肢装具士の職業理解」の場を提供出来た事は、非常に大切な啓発活動であったと考えます。

<プログラムに参加された職員の方々からの感想>

- ・障がいを持っていることは特別なことでも、隠すことでもない。
- ・義足の助けを借りて歩くことは、電車やクルマに乗って移動することと同様、人間なら誰もがやっている「普通のこと」なのではないかと思いました。